

草津市立玉川小学校 学校だより

4つのき

〒525-0059 草津市野路9丁目6番12号 TEL 563-1271 FAX 563-1306

令和3年9月
臨時号
玉川小学校長
小野澤 祐子

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果が公表されました

令和3年5月27日に文部科学省が6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査結果が8月31日に公表されました。本校の結果について分析しましたのでお伝えします。

- 調査目的
- ・全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析して、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 - ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。
 - ・教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

○教科に関する調査結果

【国語科】

正答率は全国平均を1.7ポイント下回り、県平均を2ポイント上回っています。「言葉の特徴や使い方に関する事項」は全国の平均正答率を少し下回るものの、滋賀県の平均正答率は、3.1ポイント上回っています。「話すこと・聞くこと」では全国から0.9ポイントや県から3.4ポイントの平均正答率を上回っています。日ごろの授業の中で、対話を大切にし、自分の思いを伝えることに重点を置いて取り組んでいる成果が表れてきていると考えます。学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使い、語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことも全国・県平均正答率を上回っており、日ごろの繰り返しの学習の成果と考えます。

一方「書くこと」においては全国の平均正答率を5ポイント下回っています。「目的や意図に応じて理由を明確にしながらか自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」ことに課題があります。

目的に応じて情報を見つけながら読んだり、資料を読み解いて自分の考えを記述したり、理由を明確にして書いたりする力に課題があると考えます。

【算数科】

正答率は全国平均を2.8ポイント、県平均を5ポイント上回っています。「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」においては、全国より2.5~4.3ポイント上回っています。特に速さと道のりを基に時間を求める式に表す力、条件に合う時刻を求める力、棒グラフから項目間の関係を読み取る力、図形を構成する要素に着目し面積を求める力は発揮できており強みであると考えます。普段からの繰り返しの学習の成果と考えられます。また昨年度までの少人数学習でのやりきる指導の成果も出ていると考えられます。

一方、小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して考え、結果の理由を記述する力に課題が見られます。また統計データを分析し、理由を記述したり、論理的に説明したりする力が弱いと考えられます。

今後も居心地がよく、安心でき、学びやすい環境を整えることで、誰もが「わかる・できる」授業につなげ、ひとりも見過ごさない授業をめざします。New 草津型アクティブラーニングの学習の良さを生かして深い学びを実現し、何をするのか、何について考えるのかが見て分かる授業を工夫し、自分の考えを友だちの考えと比較したり、資料を読み解いて自分の考えを書いたりする力を育てます。

○生活習慣や学習環境に関する調査結果

【学習面】

- ・学校以外に学習する時間は、平日・休日ともに全国・県平均よりも多く、日常的な学習習慣が身につけている児童が多い。
- ・家で自分で計画をたてて勉強している児童が全国・県平均よりかなり高い。
- ・国語の勉強は大切であると分かっている児童は全国・県平均より高いが、国語の勉強は好きだと答えた児童は、県平均は上回っているものの、60%に満たない。
- ・算数の勉強は大切だと分かっている児童は全国・県平均よりかなり高く、算数の勉強は好きだと答えた児童も全国・県平均よりかなり高い。
- ・「自分の思っていることや、感じていることをきちんと言葉で表すことができますか。」は全国・県平均とほとんど変わらないが、「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と思っている児童は、全国・県平均より高い。
- ・「友だちと話し合う時、友だちの話や意見を最後まで聞くことができますか」は全国・県平均より高い。

【生活面】

- ・「学校に行くのは楽しい」と回答する児童が全国・県平均よりかなり高い。
- ・「自分にはよいところがあると思う」「自分でやると決めたことはやり遂げる」「人が困っているとき進んで助ける」なども全国・県平均を大きく上回っている。
- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」は全国・県平均より高い。

やる気を持って、学習に向かっている児童が多く、これは本校の強みの一つです。一方「将来の夢や目標を持っていますか」「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦していますか」の項目は、全国・県平均から下回っており、本校の課題であります。

引き続き児童のよいところを認め・誉め、やる気を促し、個々の良さを引き出していきます。自分の思いや、わからないことをわからないと素直に言える温かい学級づくりに取り組み、学ぶ意欲を引き出す学習集団作りを大切にしながら、何事にもチャレンジできるたくましい子に育ててほしいと願います。今後も職員一同、学校教育目標の実現に向けて取り組んでいきます。

ご支援よろしく願いいたします。